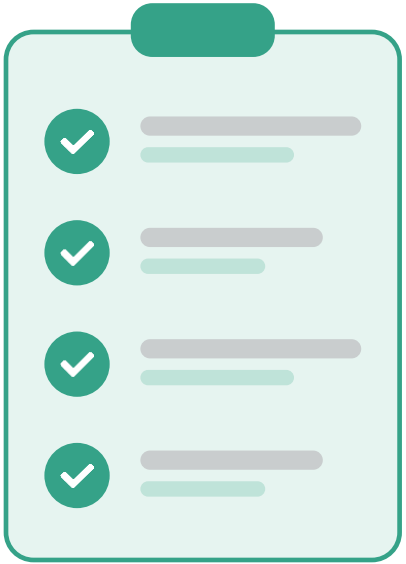
株式会社採用総研

現場を疲弊させない！
インターンシップ受け入れ直前チェックリスト



「とりあえずやってみよう」で失敗しないための、現場マネージャー向け・4つの必須ステップ

株式会社採用総研（Saiyo Soken Co., Ltd.）

Why｜背景：採用を急ぐあまり、現場から「悲鳴」が上がっていませんか？

早期化の波で起きている「現場の疲弊」と「4つの壁」

株式会社 採用総研

「他社もやっているから、うちも早くインターンをやらないと」と焦るあまり、準備が不十分なまま学生を受け入れていませんか？
その結果、一番しわ寄せがいくのは受け入れ先の現場です。多くの企業が、次のような壁にぶつかっています。

1

54.4%

最大の悩みと回答
※経産省調査

現場社員の負担が大きすぎる

学生への指導やフィードバックに時間を取られ、本来の業務が回らなくなってしまう。

2

41.4%

人員が課題
（日程は39.9%）

人手とスケジュールの確保が難しい

複数日のプログラムを組もうにも、忙しいエース社員の時間を確保できない。

3

64.3%

エントリー不足
※マイナビ調査

そもそも学生が集まらない

「気軽に参加したい」という学生のニーズに、自社のプログラムが合っていない。

4

約8割

本選考への誘導に苦戦

終わった後のフォローに手が回らない

開催直後のアンケート集計などに追われ、次の案内を出す頃には学生の熱が冷めている。

悪循環のサイクル

準備不足 → 現場がパンク → 学生の満足度ダウン → 採用につながらない

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

インターンを「本選考」につなげる4つのステップ

株式会社 採用総研

現場の負担を減らしつつ、良い学生に「この会社を受けたい！」と思ってもらうためには、当日の内容だけでなく、前後の段取りが不可欠です。まずは以下の4つのステップで全体像を整理しましょう。

STEP 1 事前準備・ルール確認

法的なトラブルを防ぎ、現場の社員と「なんのためにやるのか」をすり合わせる。

✓ Check! P4

STEP 2 プログラム作り

ただの会社説明や見学会で終わらせず、自社の「リアルな仕事」を体験してもらう。

✓ Check! P5

STEP 3 当日の現場フォロー

現場の社員が学生に「つきっきり」にならなくても回る、無理のない体制をつくる。

✓ Check! P6

STEP 4 終了後のつなぎとめ

「やりっぱなし」を防ぎ、学生の熱が冷めないうちに本選考へと誘導する。

✓ Check! P7

次のページから、Step 1〜4の実践チェックリストを順に確認していきましょう

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

Check 1｜【事前準備編】トラブルを防ぐ土台づくり

学生を「無給のアルバイト」扱いにしていませんか？

株式会社 採用総研

インターンシップはあくまで「就業体験」です。学生に自社の利益になるような実務をさせてしまうと、労働基準法に触れるリスクがあります。まずは法的なルールと、社内の受け入れ体制をチェックしましょう。

- [ ] **学生の作業内容が、自社の売上や利益に直結する「労働」になっていないか**
  実務の丸投げや、社員と同じような指示のもとで働かせていないか確認する
- [ ] **機密情報や個人情報を守るための誓約書（NDA）を準備できているか**
  社外秘のデータに触れるワークを行う場合は、事前の同意が必須です
- [ ] **受け入れる現場の社員に「学生へのNGな言動」を共有しているか**
  無意識のハラスメントを防ぐための声かけや、任せてはいけない業務の範囲を徹底する
- [ ] **現場マネージャーが「なぜ忙しい中、インターンをやるのか」を納得しているか**
  採用の目的や求める人物像を共有し、現場からの協力を得られる状態にしておく

注意ポイント

コンプライアンス違反はSNSでの悪評拡散にもつながります

「就業体験」の範囲を超えた実務の丸投げは、法的リスクだけでなく、企業の評判にも影響します。

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

学生の「参加してよかった！」を引き出すワーク設計

株式会社 採用総研

学生が求めているのは、単なる座学ではなく「自分の成長につながる体験」です。現場で実際に起きた課題などをテーマにして、自社のリアルな魅力を伝えましょう。

- ☐ **「座学・会社説明・職場見学」だけで時間が埋まっていないか**
  学生自身が頭を使って考え、答えを出すような「ワーク」の時間が用意されているか
- ☐ **ワークのテーマは、自社の「リアルな仕事」に基づいているか**
  架空のゲームではなく、実際の事業やお客様への提案など、仕事の面白さが伝わる内容か
- ☐ **学生の知識レベルに対して、難しすぎたり、逆に簡単すぎたりしないか**
  専門知識がなくても取り組めて、時間内にしっかり答えを出せるレベルに調整する
- ☐ **社員の「素の雰囲気」が伝わるような交流の時間が用意されているか**
  ワークの合間や終了後の座談会など、学生が気軽に質問できる場をつくる

タイムスケジュール比較（イメージ）

× よくあるNG例	1日中ずっと話を聞くだけ（会社説明・職場見学・座学…）		
○ 良い例	インプット	ワーク	フィードバック

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

Check 3｜【当日の現場フォロー編】社員が疲弊しない体制づくり

エース社員を「つきっきり」にさせない工夫

株式会社 採用総研

現場の一番の悩みは「通常業務との両立」です。担当の社員が一日中学生にかかりきりになるのを防ぎ、限られた時間で効率よくフォローする仕組みをつくりましょう。

- ☐ **現場の担当者に「全部おまかせ」にならず、役割分担ができているか**
  進行役、質問に答える役、評価する役など、複数人で負担を分け合えているか
- ☐ **学生を客観的に評価するための「共通のシート」が用意されているか**
  社員の好みや感覚で判断しないよう、「思考力」「主体性」などの基準をすり合わせておく
- ☐ **学生からの質問タイムや、フィードバックの時間をあらかじめ決めているか**
  「いつでも質問OK」にすると仕事が進まないため、時間を区切って対応するルールにする
- ☐ **すぐに答えを教えるのではなく、学生に「考えさせる」スタンスを共有しているか**
  手取り足取り教えすぎず、学生の気づきを促すような声かけを意識する

社員の負担を減らす
タイムマネジメント（定時チェック型）

学生がワーク（社員は通常業務）
↓
定時チェック：質問・FB
↓
学生がワーク（社員は通常業務）
↓
定時チェック：質問・FB
↓
最終フィードバック

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

Check 4｜【終了後のつなぎとめ編】本選考へスムーズに誘導する

最大の関門！「やりっぱなし」を防いで本選考へつなぐ

株式会社 採用総研

実は、インターンは「終わった後」が本番です。現場が忙しくてアンケート集計を後回しにし、数週間も放置してしまえば、学生の熱量は一気に冷めてしまいます。スピード感のあるフォローが命です。

- ☐ **終了後、遅くとも「1週間以内」に学生へ個別のフィードバックを送れるか**
  現場からの評価をサッと集めて、人事からスピーディに連絡できる流れになっているか
- ☐ **優秀な学生を、本選考や限定イベントへ案内する「特別ルート」はあるか**
  早期選考の案内や、若手エース社員との面談など、次のステップをすぐに提示できるか
- ☐ **終了直後のアンケートで、自社への「志望度」をしっかり測れているか**
  学生のリアルな感想を取りこぼさず、次回の改善にすぐ活かせるフォーマットになっているか
- ☐ **現場の社員から人事への「評価の提出期限」が明確に決まっているか**
  「あとで書いておいて」ではなく、最終日のうちにパッと提出してもらう運用にする

終了後から1週間の理想的なスケジュール

当日
アンケート回収
→
3日以内
お礼と講評を送る
→
1週間以内
面談設定

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

内製の壁｜これらをすべて「自社だけ」で準備するのは現実的でしょうか？

頭では分かっていても、「工数の壁」があります

株式会社 採用総研

ここまでご紹介したチェックリストは、成功のために欠かせない要素です。しかし、これを通常業務をこなしながら、現場のマネージャーや担当者がゼロから準備・運用するのは非常に困難です。

「自社だけでやる」場合につきまとう3つのリスク

1 準備時間が足りない
ワークの課題作りやスケジュールの調整だけで、何十時間も取られてしまう。

2 社員ごとの「バラつき」
教え方や評価の基準が人によって違い、学生からの見え方が悪くなってしまう。

3 終わったあとの放置
インターンが終わると同時に通常業務に追われ、一番大切な「その後の連絡」が途絶えてしまう。

本当に現場だけで抱え込みますか？



板挟みで悩む現場マネージャー

インターン1回あたりの企画・準備・運営

約120〜150時間

これを現場に丸投げすると、確実に不満が溜まり、本来の業務にも支障が出かねません。

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

解決策｜現場の負担を減らし、成果を出すなら「プロ」の力を

採用総研が「本選考につながる」インターンを実現します

株式会社 採用総研

私たち株式会社採用総研は、貴社の事業内容に合わせたインターンの企画から、現場社員のサポート、終了後のフォローまでを二人三脚で支援し、現場の負担を減らします。



SUPPORT 01

現場の準備時間を大幅カット！

完全オーダーメイドの企画設計

貴社の普段の仕事をヒアリングし、学生が面白さを感じられるリアルなワーク課題を私たちが作成します。現場のマネージャーを企画の悩みから解放します。



SUPPORT 02

誰でもスムーズに指導できる

評価シートと事前サポート

担当する社員によって教え方がバラつかないよう、使いやすい評価シートをご用意。無理なく学生をフォローできる進め方をレクチャーします。



SUPPORT 03

良い学生を逃さない

終了後のスピード・フォロー

約8割の企業がつまずく「事後フォロー」もお任せください。アンケートの作成から、本選考へ進んでもらうための連絡の段取りまで、しっかりと伴走します。

「現場の工数削減」と「本選考への移行率アップ」を両立します

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.

まずは今の計画について、お気軽に壁打ちしてみませんか？

まずは貴社の現状について、お気軽にご相談ください

株式会社 採用総研

「何から手をつけていいか分からない」「今のプログラムで現場に負担をかけないか心配」といったお悩みがございましたら、ぜひ一度、私たちに現状をお聞かせください。

無料相談でできること（60分・オンライン）

- 今お考えのインターン計画へのアドバイス・健康診断
- 現場社員の負担を減らすための進め方のご提案
- ターゲット学生に響くワークテーマのアイデア出し

お申し込み方法

初回無料

ご希望の日程を選ぶだけで、簡単に予約が完了します。ぜひお気軽にご活用ください。

無料相談の日程調整はこちら

お問い合わせ・会社情報
株式会社採用総研（Saiyo Soken Co., Ltd.）

Webサイト
https://www.ssen.co.jp/

SaiyouSouken Co.,Ltd.All Rights Reserved.